

私立大学図書館協会 2014年度第3回常任幹事会議事要録

日 時：2015年3月6日（金） 13時00分～13時45分

場 所：京都ガーデンパレス 2F 「鞍馬」

出席者：名簿のとおり

議事に先立ち、会長校の挨拶の後、第2回東西合同役員会前の短時間で開催する旨の説明とご協力をお願いした。

議事進行は、立命館大学図書館長・平野仁彦が担当した。

〔報告・協議事項〕

1. 国際図書館協力委員会における国際図書館協力シンポジウムの経理処理について

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p.3～18）にもとづき、説明が行われた。種々意見交換が行われ、国際図書館協力シンポジウムの経理処理方法について、常任幹事会として、①招聘経費にかかる根拠証憑が入手できないまま支払われたこと、②私立大学図書館協会で行っている事業と関西大学で行っている事業について、主体となる組織が異なるにも関わらず経理処理において明確な区別ができていない点があったこと、この2点が問題であることが確認された。

また、このような事態が今後起こらないよう、予算執行に係わる内規を作成することが必要であること、事業の実施にあたって複数の組織が関わる場合は、共催や後援等の役割を確認し経費分担等を予め明確にしておくことが必要である、などの意見が出された。

なお、今回のケースは、前例としない条件で経理処理を認めることが確認された。

最後に、経理処理に直接携わった国際図書館協力委員会委員長（関西大学・金氏）に事実報告書の提出を求めると、今回の処理について不適切な点があった旨の文書の提出を求めるとことが確認され、提出された文書等については、現在の常任幹事会で再度確認することとした。

以上

<配布資料>

「私立大学図書館協会 2014年度第3回常任幹事会」 （p.1～18）